

東京病院ニュース

第29号 2010年7月1日発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
 〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
 TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
 ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134
 ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

8月から当院も救急告示病院に

現在は救急医療体制の危機と言われています。

医療機関側としては、厳しい勤務条件のために地方では勤務医の確保が非常に厳しくなっており、比較的勤務医がいると思われている東京都でも過去10年間に救急車患者さんは3割増えたのに、それを扱う二次救急病院は2割も減ってしまいました。

清瀬市でも長らく救急医療を担ってきました都立清瀬小児病院は移転し、織本病院が二次救急医療体制から離脱したため、現在では山本病院のみとなりました。いっぽう国立病院機構においては、第2次中期計画にて地域医療への貢献が明確に打ち出されています。ところで東京病院の属する清瀬市は北多摩北部5市との2次医療圏を形成し、小平市の公立昭和病院がその中核として3次救急・高度救命救急センターの役割を果たしていますが、昭和病院がパンク状態にあることも事実です。このような背景から東京病院は地域貢献の一つとして救急医療の一端を担うことを開始致します。その始めとしてまず救急告示病院になります。救急告示病院になるとは2次救急病院（3次救急以外のすべての救急患者を受け入れる）とは異なり、東京病院の診療可能な範囲で急患を受け入れると云うことであります。

将来的には2次救急病院を目指しますが、現在の東京病院の診療科のバランスからみて全ての救急患者には対応できません。日中の日常診療時間帯は当院標榜診療科の範囲であれば出来るだけ対応させていただきます。いっぽう時間外については当面急患の受け入れは、具体的には呼吸器系疾患は常に受け入れ、消化器系は内科外科で一連の当直体制を組みますが消化器系当直医の勤務日のみ、循環器系も当該科当直医勤務日のみ、腹部外科、胸部（呼吸器）外科もそれぞれ当該科当直医勤務日のみとさせていただきます。ただしかかりつけの患者様や紹介患者様、実際に来院された患者様には当院で初診対応し、当院での対応困難な場合など必要であれば他院への紹介手続きを取らせていただきます。また急性な頭痛めまいの発症等重篤な脳血管障害の可能性がある場合や、その他重病で一刻も早い治療を要する場合などは、診療をお断りして第3次救急病院をご紹介させていただく事になると思います。以上地域の皆様にとっては非常に不十分な対応と思われるかもしれませんが、東京病院の第1歩としてご理解いただきますようお願いいたします。

副院長 茅野 真男



● 新任職員挨拶 ●



平成22年4月1日付をもちまして、東京病院地域医療連携部長を拝命いたしました。通常の診療では神経内科を専門とし、パーキンソン病をはじめとした神経変性疾患、多発性硬化症などのほかに脳卒中、頭痛、てんかんといった頻度の高い疾患を診させていただいています。地域医療連携部長としての私の役割は、患者様のニーズに応えるべく東京病院の医療資源を有効に活用し、また地域の医療機関と広く連携し患者様によりよい医療を提供することと考えています。東京病院の最大の特徴は呼吸器疾患診療の専門性と質の高さです。呼吸器内科を筆頭に各科の専門性の高いスタッフがそろっています。しかし、以前には東京病院でどのような診療が行われどのようなスタッフがいるか十分には地域の医療機関並びに住民の皆様には伝わっていなかったと聞いています。最近では院長先生をはじめ、東京病院のスタッフの皆様のご努力で徐々に当院の地域医療への貢献度が高まっています。皆様に東京病院の地域医療連携室を活用していただきながら、東京病院の認知度をさらに高め患者様のニーズにあった医療をできる一助となるように努力したいと考えていますので、宜しくお願いたします。

地域医療連携部長 相澤 仁志



4月1日付で千葉東病院より配置換えで参りました看護部長の永田郁子と申します。緑豊かな広大な敷地にどっしりと建つ病院の全景を前にして、責任の大きさに緊張しながら着任しました。

東京病院での私の一番の役割は看護師確保ということになると思っています。新採用者の確保は勿論のこと、現在働いている看護師達が継続して働ける職場環境や看護のやりがいを持てるように支援していくことが大切だと考えています。

東京病院は今年度、呼吸器疾患センターの設立・電子カルテの導入・救急告示など新たなことを進めています。また来年度は病院機能評価バージョン6の受審が控えています。これらのことで成果を上げるためには、病院のスタッフが一丸となり進める必要があります。看護スタッフが前向きに力を十分発揮できるように、看護師長はじめ看護スタッフと協力し、他部門共連携を取り頑張っていきたいと思っております。

私の個人的なことですが、千葉東病院のときと比べ通勤時間が片道で1時間も短縮され、夜の自宅での時間が少し増えましたので、趣味の刺繍をする時間ができました。8年くらい前に高校生の時に作ったクロスステッチの鏡台カバーを実家で見つけ、久しぶりに挑

戦したのがきっかけです。今は、様々な図案があり絵画のようなものも作れます。また、本屋でハーダンガー刺繍の本を見つけて、レース編みのような風合いに惹かれ作り始めました。細かい作業で肩も懲りますが、作品ができあがると嬉しく気分転換になっています。

看護部長 永田 郁子



東京病院へ赴任して

このたび、4月1日付けをもって国立病院機構宇都宮病院より異動して参りました。

東京病院での勤務は初めてで、引継ぎを受けて以来、予期していなかった事柄が続き、戸惑っております。

私は、生まれは群馬県沼田市で、現在沼田に自宅を構え週末は自宅へ戻り、自宅と病院を往復する単身赴任生活を送っております。

さて、東京病院での業務ですが、赴任以来電子カルテの導入やら、その他の契約事務など、現状が分からず戸惑いの毎日をご過ごす日々が現在も続いて居ります。

企画課長としての業務は、前任地の施設以来の業務なので、業務の進め方は分かりますが、病院の経営状況は其々異なりますので、当院に合った業務の遂行に向け、日々努力して参りますが、先ずは今年度の当院目標でもある、医業収支率100パーセント以上、経常収支率100パーセント以上達成に向け邁進して行きたいと思っておりますので、職員の更なるご協力をお願い致します。

企画課長 牧野 繁雄



4月に下総精神医療センターより管理課長で赴任しました小泉と申します。

下総精神医療センターの時は片道2時間半かけて通勤しておりましたが、今では3分の1程度の通勤時間となりました。東京病院は2回目の勤務となりますが、前回勤務していた時は、外来診療棟を新築していた時期であり、当時の記憶では工事の音の中で勤務していたとの印象が残っております。建替整備が終了した環境の中での病院で働けることは光栄に思っております。

着任後3ヶ月がたちましたが、まだまだ慣れないことが多いですが、職員の皆様の少しでもお役に立てられるように努力して参りたいと思っております。よろしくお願いたします。

管理課長 小泉 章



平成22年4月より呼吸器科後期研修医として東大病院呼吸器内科より参りました、石井崇史と申します。

初期研修2年間で市中病院/大学病院にて終えたばかりで、専門としては1年目です。東京病院は結核を始めとして豊富かつ多様な症例が多く、日々勉強となっています。

未熟な自分でもどうにか臨床をこなしているのは、どんな些細な事でも丁寧に教えてくださる指導医の先生方、至らない面を様々な方面よりフォローして下さるコメディカルの方々の御蔭と感じています。

今後も症例を重ねて更に呼吸器内科医としての基礎を学びつつ、積極的に学会に参加して勉強を深め、将来的な研究分野を模索できればと考えています。多々皆様にご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。

呼吸器内科レジデント 石井 崇史



レジデント挨拶

今年の春からレジデントとして東京病院にお世話になっております石田と申します。医師としては今年で5年目となり、今までは宮城県の地域中核病院で一般内科の研修をしておりました。東京病院の呼吸器科は実に活動的で、症例も多く専門的な知識を学ぶのに最適な場所と考え、北の地からやって参りました。

た。実際に2ヶ月程働かせていただいて、結核をはじめ、あまり市中病院でみることがないような稀な症例にいたるまで、日々多くのことを学ばせていただいております。呼吸器科医としては駆け出し身であり、指導医の先生方をはじめ、スタッフの皆様方に多々ご迷惑をお掛けすることがあろうかと存じますが、何卒よろしくようお願い申し上げます。

呼吸器内科後期臨床研修医 石田 雅嗣



慈恵医大より呼吸器科レジデントとして参りました戸根一哉と申します。東京病院は高名な先生方がたくさんおられ、症例数も豊富で研修医時代に呼吸器科を専門にしていく決心をしてからいつかこの病院で勉強したいと思っていました。念願が叶い4月より5西、7東病棟で勤務させて頂いています。仕事に追われる毎日ですがカンファレンスでは一人の患者さんについてじっくり相談することができますし病棟業務外でも人工呼吸器の講習会や呼吸器全般のミニレクチャーがあり新たな知識を得ることができ充実した日々を過ごしています。少しでも患者さんのお役にたてるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

呼吸器内科レジデント 戸根 一哉

ホームページリニューアルについて

従前のホームページは、職員の手による、まさに手作りのホームページとして長きに亘り掲示させて頂いて参りました。

昨今のWEBサイトの発展はめざましいものがあり、鮮明で動きがあり、見るものを引きつけるサイトが沢山ありますが、そんな中で当院のホームページは、見づらい、動きがない、デザインや配色が悪い、統一感がない、必要情報が得にくい、他病院のサイトと比較しても見劣りがする、等々の多くのご批判をいただきました。(その当時、作成していただいた皆様には、誠に申し訳ありません。)

こういった多くの皆様の不満を払拭し、ニーズに応えるべく、ホームページのリニューアルに取り組むこととなった次第です。

検討は、昨年立ち上げた経営戦略作業部会の中で、行い、数社のプレゼンテーションを実施した後、契約係とも相談して決定の運びとなりました。

現在は、経営企画室で調整役となり、各部門とWEB業者さんとの細部調整をしながら、従前のホームページでは、十分とは言えなかった面を刷新し、より見やすく、さらに内容を充実させたものにすべく取り組んでいる最中です。

出来上がりは、7月下旬を目標としておりますが、今後も、皆様からのご意見等を反映し、コンテンツの更なる充実を図っていく所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

経営企画室長 西沢 智明

救急指定病院告示にむけて

結核治療では日本の医療を担っている東京病院が、今般8月1日より、救急指定病院として新しい一歩を踏み出すことになりました。これまでも既に、呼吸器病の患者さんについては急患の受け入れを行なっていましたので、劇的に病院が変わることはありませんが、これからは東京消防庁とホットラインが繋がり、救急医療の一端をも担うこととなります。

清瀬市のなかにおいて、年間に救急車で搬送される人は約3000人おられます。東京都全体では約58万人ですので、近隣地区を含めてもごくわずかでしかありません。したがって、あくまでも小さな一歩ですが、すでに報道されているように、救急医療を取り巻く現状は想像を超えて厳しいために、この一歩が勇気ある決断であることを皆さんご承知おきください。たとえば〇〇市では、ここ数年の間に救急指定病院は7から2施設に激減しました。日本中でも最近10年間で2

割以上が指定を返上しています。何故でしょうか？誤解を恐れずにいえば、医療に採算性を求めてきたからだといえます。また、度重なる医療訴訟の結果、病院が保身にむいているからとも。急患は受けないほうが楽だし、安心だというのが病院の側の本音です。

まるで時代に逆行するような今回の病院の決断は、しかし病院の矜持ともいえます。本来、病院は予想外の急病、けがの救助にあたる機能を期待されているもので、地域の人々と空気のような密接な信頼関係を築いてそこにあるべきもの。そう思えば、8月1日はそのような社会を作るための第一歩です。

救急医療の崩壊を恐れず、今般の方向性が失われることなく、さらに良い病院と社会をつくるためには、病院で働く人間だけにとどまらず、そこを利用されるすべての皆様のご理解とご協力が必要とされています。

手術部長 菅原 真哉

平成22年度 清瀬市健康診査の予約方法がかわりました！！

今年度も東京病院では、清瀬市健康診査を実施しています。

今年度から、健康診査の予約方法がかわりました。4月に開設いたしました、予約センターで電話予約の受付をさせていただきます。予約をご希望の方は、下記の電話番号にご連絡ください。また、受診の予約と同時に、健康診査の結果説明の予約も行っております。

病院職員一同、清瀬市の皆様のお待ちしております。この機会を利用し健康チェックを行い、健康づくりを行いましょ。

○特定健診実施日：6月～12月 月曜日～金曜日
第2土曜日、第4土曜日
(12月は第2土曜日、第4土曜日の実施はありません。)

- ・予約された受診当日は、清瀬市から送られてきた書類をお持ちいただき、8:30に8番の清瀬市健診窓口へお越しください。
- ・予約された結果説明当日は、10:00に7番窓口へお越しください。

○ご予約は、予約センター：TEL 042-491-2181 (平日11:00～15:00)で、お待ちしております。

◇ 予約センターのスタッフ紹介 ◇

既にご利用された患者さまもいらっしゃるかと思いますが、平成22年4月1日より予約センターを開設いたしました。

今まで主治医のみが行っていた診察の予約日時の変更や取消しはもちろん、新たに別の診療科の受診を受けたい患者さまのご予約も承っております。

また、東京病院を始めて受診される方（紹介状をお持ちでない患者さま）のご予約もこちらで可能です。

できるかぎり患者さまの立場にたって頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ予約センターをよろしくお願ひ致します。



① 杉江 和晃
「ご予約お待ちしております。」



② 永田 ひとみ
「よろしくお願ひします。」



③ 山岡 久美子
「今後とも予約センターを応援してください！」



④ 君島 盾光
「少しでもお役に立てるよう頑張ります。」

〈 予約センター電話番号 〉

TEL 042-491-2181 (直通)

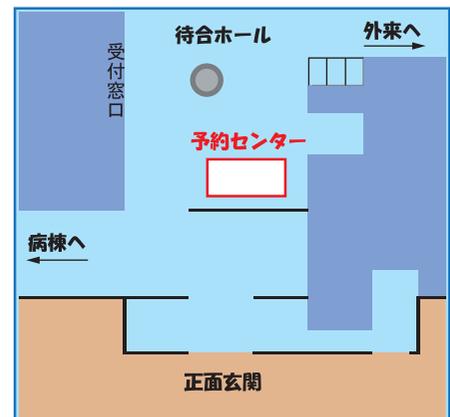
(受付時間 平日の8:30~15:00 まで)

※紹介状をお持ちの方は

地域医療連携室 TEL042-491-2934 (直通)

(受付時間 平日の8:30~15:30 まで)

予約センターの開設場所



※医師の休診や予約空き状況によってご希望に添えない場合がございます。

※時間帯により回線が大変混みあう場合がございます。

(比較的午後の方がつながりやすくなっております。)

ご不明な点がございましたら予約センターまでご連絡ください。



■ 看護の日健康フェスタを終えて ■

ご存知の方も多いと思いますが、5月12日は19世紀に近代看護の礎を築き「クリミアの天使」といわれたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。世界的にもナイチンゲールデーや国際ナースデーとされているようですが、我が国では平成2年12月に看護週間と共に「看護の日」として制定され、翌年より各地で記念行事が行われています。東京病院でも毎年、看護研究会の運営によりイベントを開催して地域の皆さんに親しまれてきました。今年度からは病院全体のイベントとして行うことになり、名前も「看護の日健康フェスタ」と装いも新たに5月13日に開催されました。各部門の代表が委員になり運営にあたります。その中で今回は、なぜか栄養士の自分が実行委員長を勤めさせていただきました。

午前中は例年好評の健康チェック（血圧・血管年齢・骨密度）を中心に各種相談コーナー（医療相談・服薬相談・栄養相談・リハビリ相談）を設け、健康チェックの結果や普段から気になっている様々な内容に専門スタッフが対応しました。また、介護用品の展示・放

射線科PRコーナー・病棟紹介・看護の写真紹介など東京病院を知っていただく展示も盛沢山です。

午後は外来待ち受けホールの一角をステージにして循環器科医長・瀬川先生による「メタボリックシンドローム—脳卒中・心筋梗塞にならないために—」というミニ公開講座を行いました。スライドを使用してとても解りやすい内容だったとアンケートでも好評でした。

続いてはプロ奏者の高田ご夫妻のチェロとピアノの二重奏によるミニコンサートです。クラシックの中でも親しみやすい名曲とみなさんで口ずさめる唱歌を演奏していただきました。生演奏の迫力と染み入るような音色で、心洗われるひと時でした。

朝の9時から午後の4時近くに及んだ「看護の日健康フェスタ」でしたが皆さんの協力により無事終了することが出来ました。患者様や地域の皆様にますます親しまれるイベントに発展できればと思います。

看護の日実行委員長 野口 一彦





薬剤科紹介



薬剤科には現在10名の薬剤師がいます。

その10名で、調剤・注射薬払い出し・薬剤管理指導・製剤・抗がん剤の調製・治験など様々な業務を行っています。

また、今年度は次世代を担う薬学実習生を多数受け入れ、社会のニーズにあった有効かつ安全な医療を提供できる薬剤師の育成にも力を注いでいます。

小さくても大きく頑張る薬剤です。

バタバタとはしていますが、出来るだけ周りの部署の方々や患者さまの相談や要望には対応していきたいと思っていますので、お気軽にご相談ください。

薬 剤 科



質問や相談に対応しています



化学療法剤の調製



散薬調剤



情報の作成



新人も頑張っています



学生指導



ある日の午後

専門外来案内

| 専門外来名 | | 診察日 | このようなことでお悩みの方は、ご相談ください |
|----------|-----------------------|--|---|
| 呼吸器関係外来 | 禁煙（予約制） | 水（午前） 木（午前） | タバコがどうしてもやめられない方。 （当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。） |
| | 肺がんセカンドオピニオン（予約制） | 木（午後） | 肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。[30分：5,250円] |
| | 間質性肺炎 | 水（午前） | この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。 |
| | 非結核性抗酸菌症 | 水（午前） | 咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。 |
| | いびきCOPD（睡眠時無呼吸症候群の検査） | 月～金（午前） | ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。 |
| | アスベスト（予約制） | 水（午前） | アスベスト（石綿）を扱うお仕事をされた方。 アスベスト吸入による肺の病気についてご心配な方（予約制です） |
| ものわすれ外来 | 水（午後） | 最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 （あらかじめ神経内科を受診して下さい。） | |
| 高次脳機能外来 | 木（午後） | 失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など（要神経内科外来受診）。 | |
| 糖尿病 | 木（午後） | のどがかわきやすい、体重が減ってきた。 （無症状が多いので、健康診断で異常を指摘される場合が多い。） | |
| 肝胆脾 | 金（午後） | 肝臓癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌や胆石症など、肝胆脾疾患の手術のご相談、お申し込み、セカンドオピニオン等に、専門の医師が対応いたします。 | |
| 地域リハビリ相談 | 木（午前） | 連携医の先生方からかかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。（かかりつけ医の情報提供書が必要です） | |

診療時間 8:30～17:15
 受付時間 午前 8:30～11:00 午後 12:30～14:00
 休診日 土・日・祝祭日および年末年始（12月29日～1月3日）

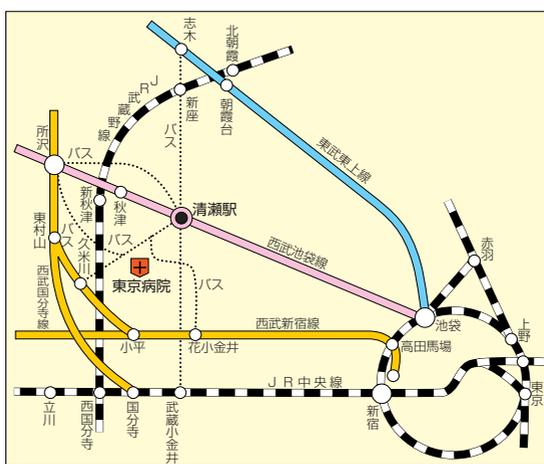
代表電話番号 042-491-2111
 内線番号がおわかりの方は042-491-4134
 （ダイレクト・イン・ダイヤル）をご利用下さい

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合（医療機関）

外来診療の予約：診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125 (8:30～15:30)
 CT・MRI検査の申し込み：医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

診療内容 病床数560床

- 総合内科科
- 呼吸器科科
- 消化器科科
- 循環器科科
- リハビリテーション科科
- 呼吸器外科科
- 消化器外科科
- 神経内科科
- 放射線科科
- 麻酔科科
- 整形外科科
- 緩和ケア科科
- アレルギー科科
- 泌尿器科科
- 耳鼻咽喉科科



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。（早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。）
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。（早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。）
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。（駐車場265台）
 30分以内 無料
 31分～4時間 100円
 以後1時間毎 100円
 （20時15分～7時 1時間毎300円）